

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成24年度対象)



平成25年8月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成24年度の教育委員会の点検・評価を行いましたので報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会委員名簿（平成25年4月現在）

職 名	氏 名
委 員 長	大 谷 文 男
委員長職務代理者	浦 壁 京 子
委 員	小 山 優 子
委 員	坪 内 東 公
委員兼教育長	落 合 繁 夫

2 教育委員会会議の開催状況等

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。平成24年度は合計で13回開催しました。

- (1) 定例会・・・12回
- (2) 臨時会・・・1回

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（放課後懇談会）を平成24年度は21回開催しました。（小中学校の授業参観、人権教育セミナーに参加、次年度教育施策の検討など）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第7条の規定に基づき、平成24年度は合計で38件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・2件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・3件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・7件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関する事・・・・・・・・1件
- (5) 教育長の任命・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- (6) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・11件
- (7) 請願に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (8) その他、重要な事項に関する事・・・・・・・・・・11件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（27件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・5件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・10件

協議事項（1件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種審議会等の委員の選考・・・・・・・・1件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	7	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館定期休館日の特例に関する規則の制定 ・教科書印旛採択地区協議会委員の選出
5月定例会	9	3		<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正 ・評価委員の委嘱
6月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・町長杯パークゴルフ大会実行委員会設置要綱の制定
7月定例会	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・点検評価報告書 ・教科用図書採択
8月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算（案） ・図書館特別整理期間に係る臨時休館
9月定例会	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、職務代理の選挙 ・公民館運営審議会委員の委嘱
10月定例会		1		<ul style="list-style-type: none"> ・行政報告
11月定例会	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算（案）
12月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・登録有形文化財新規登録
1月定例会	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会表彰の選考
2月定例会	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・3月補正予算（案） ・25年度当初予算（案）
2月臨時会	1			<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の辞職同意
3月定例会	8	7		<ul style="list-style-type: none"> ・教育長の任命 ・25年度教育施策の策定
合計	38	27	1	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成24年度教育委員会の基本理念、重点施策、推進目標に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、26事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただいています。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した26事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「平成24年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

(1) 取り組み状況（達成度）

A 予定どおり順調に達成している・・・24事業

B おおむね順調に達成している・・・・・・2事業

(2) 方針の分類（今後の方向性）

拡大・・・・・・ 3事業

現状維持・・・・21事業

改善・・・・・・ 1事業

休止・・・・・・ 1事業（子ども会活動の一部休止）

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、平成24年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、重点施策、推進目標を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委 員 長	篠 原 透
委 員	新 條 幸三郎
委 員	鈴 木 佳子

平成24年度事業に係る委員会開催状況

第1回委員会 平成24年 7月25日(水)

第2回委員会 平成24年11月20日(火)

第3回委員会 平成25年 5月16日(木)

第4回委員会 平成25年 5月29日(水)

教育委員会の点検・評価

平成24年度 教育施策評価一覧表

平成24年度 教育施策体系図



将来都市像

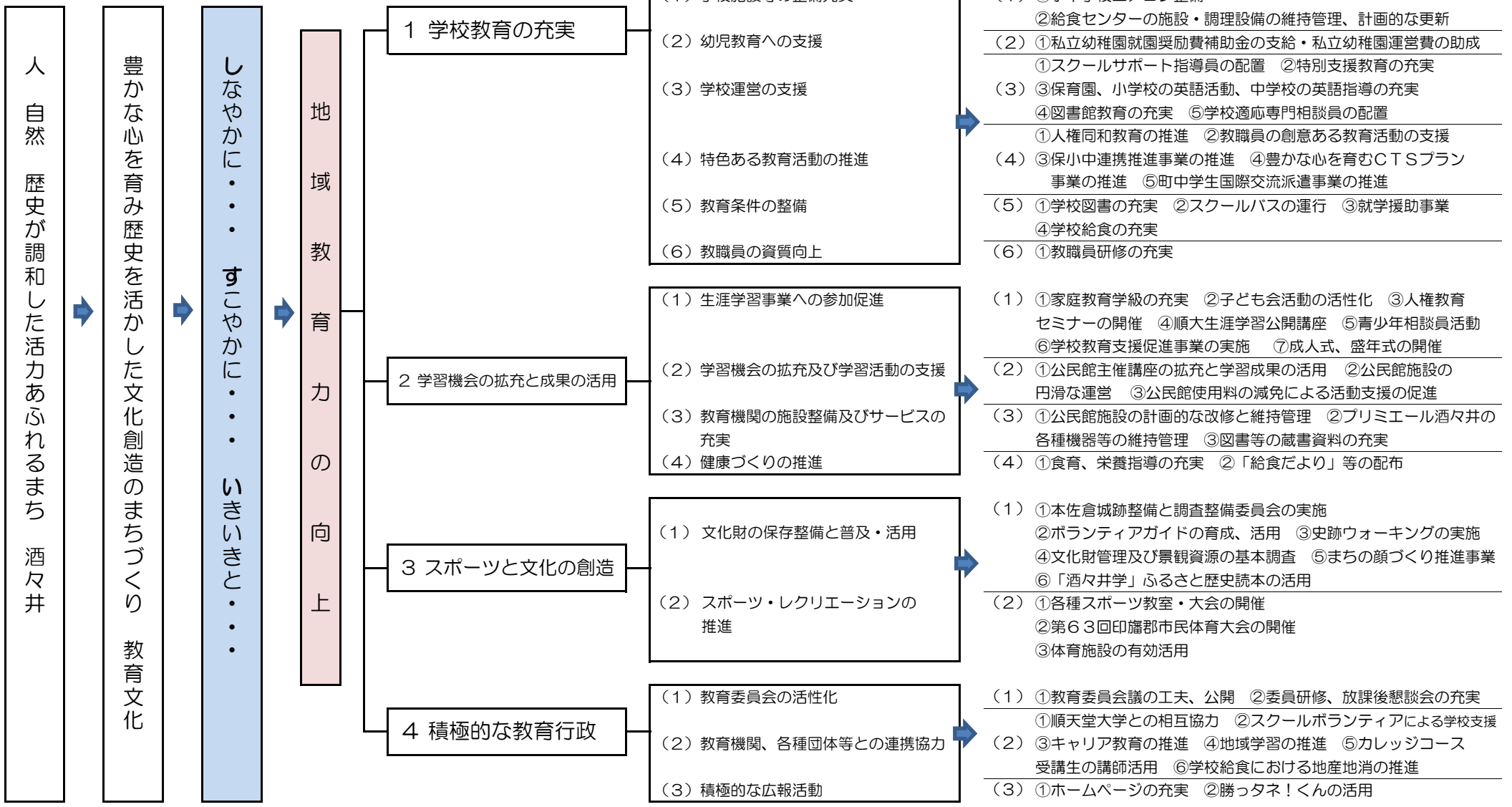
基本目標

基本理念

重点施策

推進目標

主な事業



平成24年度 教育施策評価一覧表

重点施策 1 学校教育の充実

推進目標（1）学校施設等の整備充実

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
①小中学校エアコン整備	各小中学校の普通教室、特別教室にエアコンを設置し、教育環境の充実を図る。	A	184,082	3学期から小中学校のエアコンの稼働が開始されより一層の教育環境の充実が図られた。		現状維持

推進目標（2）幼児教育への支援

①私立幼稚園就園奨励費補助金の支給・私立幼稚園運営費・教材費の助成	保護者の経済的負担の軽減を図るため補助金を支給。幼児教育の推進を図るため、教材費の補助を行う。	A	31,365	町内外の幼稚園9園に対し、園児293人、補助金30,709千円を交付した。私立幼稚園町内2園に各20万円を補助した。		現状維持
-----------------------------------	---	---	--------	--	--	------

推進目標（3）学校運営への支援

③小学校の英語活動、中学校の英語指導の充実	国際理解教育の推進を図るため、ALTを直接雇用し、チームティ칭による指導を中心にコミュニケーション能力の向上を図る。	A	5,394	ALTを直接雇用したことにより、小学校低学年と中学校での英語活動が充実した。		現状維持
④図書館教育の充実	学校図書館と公立図書館の連携を進める。図書館アシスタントを配置し、図書館機能を活かした教育活動の充実を図る。	A	1,620	公立図書館との連携により、調べ学習に活用できる図書が充実してきている。	10年以上経過している図書の整理が必要	現状維持

推進目標（4）特色ある教育活動の推進

①人権同和教育の推進	人権アンケートを実施することで、そこから得られた児童生徒の意識を反映した研究を深めながら、人権同和教育を推進する。	A	0	アンケートの結果をもとに、人権教育の視点に基づいた指導を心がけ、授業に取り組むことができた。	アンケート項目や質問内容の見直し	現状維持
------------	---	---	---	--	------------------	------

③保小中連携推進事業の推進	小中学校交流会及び小中連携分科会を実施し、学習指導や生徒指導における円滑化を図る。保育園を含めた保小中連携について支援する。	A	0	特別支援学級小中合同学習会、小中学校交流授業を実施した。小学校で中学校からの出前授業を実施した。	交流事業に、技能教科や特別支援教育の交流機会を設ける。	現状維持
⑤町中学生国際交流派遣事業の推進	国際化に対応できる人材の育成を図るため、中学生を海外へ派遣する「国際交流派遣事業」を実施する。	A	2,844	12名の中学生が参加し、予定どおり実施することができた。来年度23名の参加希望がある。	参加希望者増加の対応、経費の節減について検討要す	現状維持

推進目標（5）教育条件の整備

④学校給食の充実	給食食材の安全性について、国や県の情報を常に取入れ使用する。食材放射線測定器による放射線濃度を測定する。	A	3,287	食材放射線簡易測定器導入により安全性を確認することができ安心な給食を提供できた。	風評被害を起さぬよう測定を行う必要がある。	現状維持
----------	--	---	-------	--	-----------------------	------

推進目標（6）教職員の資質向上

①教職員研修の充実	特色ある教育活動の積極的な推進を図るため、「教職員の特色ある教育活動支援事業」を実施、児童生徒に対しての教育効果をあげる調査研究活動の支援。	A	400	「教職員の特色ある教育活動支援事業」に4件の申込があり、どの提案についても熱心に調査研究に取り組んでいた。		現状維持
-----------	--	---	-----	---	--	------

【評価委員会からの意見等】

(3) ③ 小学校の英語活動、中学校の英語指導の充実

*ALTの活用は、大変良い取り組みである。（保育園を含めて）

(4) ③ 保小中連携推進事業の推進

*小中の垣根がなくなり、良い取組だと思ふ。今後も保育園も含めて推進して行ってほしい。

*縦のつながり（けじめ）も大事なので、縦の関係も配慮しながら行ってほしい。

(4) ⑤ 町中学生国際交流派遣事業の推進

*良い取り組みで、今後も推進していただきたいが、観光旅行にならないようお願いしたい。

(6) ①教職員研修の充実

*教育効果をあげるため、教材の充実を図ってほしい。

※推進目標の（ ）付き数字と事務事業名の○付き数字は、体系図の数字になります。

平成24年度 教育施策評価一覧表

重点施策 2 学習機会の拡充と成果の活用

推進目標 (1) 生涯学習事業への参加促進

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
①家庭教育学級の充実	体験や活動を通して、家庭における教育力の向上を図る。家庭教育学級の講座の情報提供を実施することで、学級生の企画力を支援し、講座内容の充実を図る。	A	1,010	ローズマリー学級10回開催 酒々井小家庭教育学級6回開催 大室台小家庭教育学級7回開催 酒々井中家庭教育学級7回開催	学習会の参加が少ない傾向にある。	現状維持
②子ども会活動の活性化	子ども会育成連絡協議会が、コミュニティ助成事業の採択を受けキャンプ教室の実施。町子連に加盟していない子どもに参加を促す。	A	600	子ども会キャンプ教室「勝っタネ！くんの冒険」を開催し小学生4～6年生38人が参加。	町子ども会への加盟数の減少	休止
③人権教育セミナーの開催	人権尊重の理念に対する理解を深めるための機会の提供として、人権教育セミナーを引き続き実施 年6回	A	472	日常生活における様々な人権問題に気付き、家庭や地域社会で語り合う学習機会を提供した。6回開催 延べ750名参加	限られた財源のなかで講師の選定に苦慮	現状維持
⑥学校教育支援促進事業の実施	子どもたちを健やかに育むため、学校支援地域本部を設置し、教育支援に意欲のある住民に参画いただき、学校支援の充実を図る。本年度は、大室台小学校に設置する。	A	1,051	地域の方々の反応は積極的であり、地元「大室台小」を支え、子どもたちのために協力しようという意識が強く感じられた。		拡大

推進目標（２）学習機会の拡充及び学習活動の支援

①公民館主催講座の拡充と学習成果の支援	3年制の町民大学カレッジコース及び一般講座を子どもから成人を対象に開催する。また、町民文化祭のイベントを開催する。	A	772	カレッジコースで月2回定期的に講座を実施。一般講座も小学生を対象にした講座、健康を意識した講座など16講座を実施。		拡大
③公民館使用料の減免による活動支援の促進	文化協会の行政への貢献度の評価と側面からの支援のため、公民館使用料を50%減額する。新たに活動を開始する団体は3か月間使用を免除する。	A	0	6月より文化協会に所属している団体に50%を減額。減額措置以降、新たに14団体が加入、社会教育団体102団体中53団体が文化協会に所属。		現状維持

推進目標（３）教育機関の施設整備及びサービスの充実

①公民館施設の計画的な改修と維持管理	公民館が設立され32年が経過しており、災害時の避難場所にも指定されているため、耐震診断を行う。	A	5,565	公民館全棟において耐震診断を実施、うち講堂棟及び2階研修室が耐震補強が必要となる。		拡大
③図書館等の蔵書資料の充実	多様な内容の資料の整備・充実を図り、かつ他の図書館との相互貸借を活用し、積極的な資料の提供を行う。	A	4,245	図書リクエストについて、他の図書館との相互貸借等、購入以外の方法でほぼ100%要求に応えた。		現状維持

推進目標（４）健康づくりの推進

①食育、栄養指導の充実	栄養士による給食の目標に掲げる内容を学年に適したテーマに沿って指導を行う。栄養教諭が家庭科授業に参加。	A	169	小学校：各学年クラス単位で給食前に食の大切さを指導。中学校：生活習慣病予防講演会等を実施	年齢に応じた指導を続けていく必要がある。	現状維持
-------------	---	---	-----	--	----------------------	------

【評価委員会からの意見等】

（１）② 子ども会活動の活性化

*学校からキャンプの紹介があったが、本当に町（子ども会育成会連絡協議会）の主催なのか不安に思った保護者もいた。今後も、いろいろな企画をされると思うが、PRはきちんとしてほしい。

（４）① 食育、栄養指導の充実

*食育、栄養指導がしっかりできている。

*食物アレルギーの対応は、しっかり行ってほしい。

平成24年度 教育施策評価一覧表

重点施策 3 スポーツと文化の創造

推進目標（1）文化財の保存整備と普及・活用

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
①本佐倉城跡整備と調査整備委員会の実施	平成15年度～平成21年度に行った発掘調査整備工事等の事業報告書を作成し、調査整備委員会に諮りながら復元整備を実施する。入口広場の用地買収に係る、測量、物件調査等を実施する。	A	22,826	国・県の補助事業でIV郭門跡・道路跡の発掘調査、舗装道路の除去・復旧、城山郭北西斜面危険木伐採を完了した。		現状維持
②まちの顔づくり推進事業	江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行う。平成24年度は「酒々井町役場入口」交差点付近を対象としている。	B	3,175	「酒々井町入口」交差点に所在する島田長右衛門家と島田政五郎家について町登録有形文化財として登録。古民家前の環境整備を実施した。	古い町並みが限定的、散在的なので整備の順番に十分な検討を要する。	改善

推進目標（2）スポーツ・レクリエーションの推進

①各種スポーツ教室・大会の開催	体育指導委員・健康体力づくり推進員・体育協会などの各種団体の役割に応じた各種スポーツ大会などを開催する。	B	4,654	スポーツ・レクリエーション大会等を開催し、延べ3,630人の参加者を得、スポーツの振興、健康づくり・仲間づくりのきっかけとなった。		現状維持
-----------------	--	---	-------	---	--	------

平成24年度 教育施策評価一覧表

重点施策 4 積極的な教育行政

推進目標（1）教育委員会の活性化

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
①教育委員会議の工夫、公開	教育委員会会議の会議家結果の概要、会議録の公表を実施する。	A	0	会議結果の概要と併せて、会議録をホームページに掲載することにより、一層の情報公開が進んだ。		現状維持

推進目標（2）教育機関、各種団体等との連携協力

①順天堂大学との相互協力	「相互協力に関する協定」に基づき、小中学校の体育授業に学生ボランティアを派遣、教育実習生の受け入れを行う。「千葉！教職たまごプロジェクト」への登録を推進する。	A	0	「ちば！教職たまごプロジェクト」へ参加している学生が「青樹堂」に参加するなど、熱心に町の教育活動に参加をした。	年度や時期により、学生のバラツキがあるため、調整が難しい。	現状維持
③キャリア教育の推進	ライオンズクラブ・商工会及び役場総務課経済環境課の協力を得て、「キャリア教育推進協議会」を開催し、各学校との連携を図りつつ、児童生徒の発達段階に合わせたキャリア教育の充実に努める。	A	0	キャリア教育推進委員会を開催し、ライオンズクラブ等の協力を得ながら職場体験学習の準備を進めることができた。小中学校が連携を図りながらキャリア教育を進めた。	職場体験学習は希望する人数や職種によっては、対応が難しい。	現状維持
⑥学校給食における地産地消の推進	酒々井町農業生産者との連携を図り、地元で生産された新鮮な野菜や加工品を積極的に取入れ地産地消の推進に努める。	A	1,723	米は100%酒々井産一等米を使用した給食を提供した。	天候の影響で農産物の生育が定まらいため、数量の確保が難しい。	現状維持

推進目標（3）積極的な広報活動

①ホームページの充実	教育委員会の概要、教育施策、組織と仕事、諸手続きなど教育関連情報を提供する。ホームページの更新に努める。	A	0	定例教育委員会会議の会議録（毎月）と教育委員の活動報告（3か月に1回）をホームページに掲載した。		現状維持
------------	--	---	---	--	--	------